

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	東海道を核とした歴史的街なみ環境整備												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	亀山市												
計画の目標	亀山の魅力ある自然景観や歴史文化的景観、都市的景観、あるいは歴史的背景などの地域特性を活かし、魅力ある居住環境づくりを目指す。 交通機能の拠点であり商業機能が立地する利便性の高い亀山駅周辺を再生することで、居住の促進を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	360	A	356	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.11	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	生活環境施設整備に伴い、お囃子の伝承者数をR2年度までに40人以上に増加 お囃子の伝承者数を指標とする	0人	人	40人
2	整備済みの公開活用施設の来場者数を8,000人/年(H28)から14,500人/年(R2)に増加 亀山市内の公開活用施設の年間来場者数を指標とする	8000人	人	14500人
3	整備をした建築物の居住割合 整備をした建築物の居住割合を指標とする 居住割合 = 居住戸数 / 全戸数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	亀山市	間接	個人	-	-	(1-A-2) 亀山駅周辺 4A ブロック地区優良建築物 等整備事業	共同住宅の整備	亀山市						98	1.58	-	
	A16-002	住宅	一般	亀山市	直接	亀山市	-	-	(1-A-1) 街なみ環境整備 事業(街なみ整備事業)	歴史的風致形成建造物の整備 、生活環境施設の整備、その 他大臣(道路美装化)、その 他大臣(説明看板設置等)	亀山市						248		-	
	A16-003	住宅	一般	亀山市	間接	個人	-	-	(1-A-1) 街なみ環境整備 事業(街なみ整備助成事 業)	歴史的風致形成建造物の整備	亀山市						10		-	
											小計							356		
										合計								356		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
亀山市において評価を行い確定。	事業完了後
	公表の方法
	亀山市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>関宿の「関の山車」保存会による地元子供達にむけた山車会館での活動によりお囃子の担い手を少しずつ増やしていき、祭囃子を後世に継承し続けている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は来場者数が減少したが、令和元年度末時点では関の山車会館が開館年でもあったため、最終目標値を超える14,802人の集客となった。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<p>亀山市域に存する文化財の説明看板を設置することで、地域文化財を周知し、来訪者が見学しやすい環境を整えることができた。</p>
特記事項（今後の方針等）	
<p>整備された関の山車会館では、地元保存会などの伝承活動の拠点以外にも、地域特性を活かし、地元まちづくり協議会や地元自治会が活用して魅力ある居住環境づくりを進める必要がある。</p> <p>また、引き続き歴史的建造物の保存整備を実施していくとともに、新たな活用策を模索し、来訪者がより満足してもらえるように努める。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	お囃子の伝承者数		
	最終目標値	40人	地元の幼稚園や小学校に伝承活動を行って48人となった。
	最終実績値	48人	
2	亀山市内の公開活用施設の年間来場者数		
	最終目標値	14500人	新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言により、施設を閉鎖していた期間があり、例年に比べて来訪者数が減ってしまった。
	最終実績値	9662人	
3	整備をした建築物の居住割合		
	最終目標値	100%	目標値のとおり
	最終実績値	100%	